

5月5日オープン予定 ITO「ドクターのコスメ」ホームページ

ITOホームページでは、若手医師のための化粧品を一から学べるホームページを充実します！！ITOのホームページ(www.provitamin.jp)からアクセスください。(医師専用ホームページですので専用IDが必要です。)

化粧品、化粧品原料等の基本情報を集めたい。

PubMedでは検索できない化粧品関連の文献情報、展示会情報、学会情報、書籍の紹介をいたします。IFSCCをご存知ですか？世界最大の化粧品科学者の学会(IFSCC)が今年10月16日から19日に大阪で開催されます。世界の最先端の化粧品技術の情報がGetできます。2006年4月にバルセロナで開催されたヨーロッパ化粧品原料展示会(Incosme)などの様子もご紹介する予定です。化粧品及び原料の安全性情報、副作用情報、効果試験の方法、薬事法情報、化粧品の製造、販売についての法律知識、化粧品の商標、化粧品の特許、化粧品の製造販売許可、輸入許可などにかんするの法律的な知識もGetできるホームページを目指します。

化粧品を作って化粧品化学を勉強してみる。

化粧品化学を習得する近道は自分で化粧品を作ってみることです。同じ5%のグリコール酸でpH2とpH6のピーリング効果はどれだけ異なるのか？ハイドロキノンをジェルに溶かすにはどうすればよいのか？SPF100のUVカットは作れるのか？実際にご自分の手で化粧品を捏ねてみますと化粧品のことが良くわかるようになります。調剤実習と同じです。このホームページでは最新のITOの処方情報を公開する予定です。皆さんの処方情報もどしどしお寄せください。あれとこれを混ぜたら失敗したとか、接触皮膚炎を起こしてしまった等失敗談も大歓迎です。又、化粧品作りにはどんな機材が必要なのか？あの原料はどうやって入手できる？また、自分のつくった化粧品をどうやって商品にするかも問題です。医師法、薬事法の知識、ラベルの知識、容器の知識、防腐の知識などが必要になってきます。そこはITOにお任せください。50個、100個、500個といった少量の製造はITOが最も得意とするところです。実現可能な方法とお見積もりをご提案いたします。

化粧品の販売ノウハウを身につけたい

究極の化粧品ができた次は販売です。一番重要なのは、どうやって化粧品の良さを顧客にアピールし買ってもらうかです。物品販売は医師が最も不得意とする分野かもしれません。又、これからのクリニックの経営に欠かせないノウハウであるかもしれません。そのコツの習得方法の早い上達方法は実際に売ってみることです。しかし、化粧品の販売にはめんどうな商品の仕入れや在庫管理がつきものです。個人で期限切れの不良在庫をかかえて破棄処分なんてことにもなりかねません。そんなめんどうな部分やリスクをITOがサポートいたします。このホームページに会員登録いただくだけで、保証金もなく、在庫も持たないでITOのAP5シリーズ化粧品を一個からお客様にネット販売できます。もちろん実際に売ればお医者様へのアフィリエイトサービスでポイントが還元されITOのさまざまな商品がポイントで購入できますし、口座を登録いただければそのポイントを換金することも。AP5シリーズは通常はクリニック以外からの購入はできませんがこのホームページの会員登録で発行された個人IDをお客様や患者さんにお伝えいただければ、お客様はその紹介IDを利用してホームページからお客様によるオンラインショッピングが可能になります。

<http://www.provitamin.jp> でお会いしましょう！ 試験期間ID【ABC123】